



2022年3月期 通期 決算説明会
(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年6月3日

2022年3月期 当社の通期概況・下半期トピックス



1. 2022年3月期 通期概況
2. 2022年3月期 下半期 トピックス

2022年6月3日
株式会社シモジマ

1. 2022年3月期 通期概況



2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出と解除により、経済活動も停滞と回復が繰り返し起こりました。緊急事態宣言解除後の10月以降に一時は持ち直しの兆しを見せましたが、今年に入りオミクロン株感染者の急速な増加によって、再度まん延防止等重点措置が発出され、回復にブレーキがかかりました。当社グループが属する業界においては、世界的な環境問題への意識高揚による脱プラスチック化など事業環境の変化に加え、インターネット通販市場やテイクアウト・フードデリバリー需要の拡大といった消費行動も引き続き大きく変化しています。

当社グループは、長期ビジョンを「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」と定め、【1】事業の拡大 【2】経営基盤の強化 【3】経営体制の強化を長期方針としております。それらのビジョンや方針を基として、中期経営計画は作成されています。その計画に則った活動を開始いたしました。

2. 2022年3月期 下半期 トピックス



①(株)グローバルブランド グループ入り

(株)グローバルブランド社が11月12日にグループ入りしました。
同社は海外物流事業、越境EC事業に強みを持つ会社です。
これまでの当社グループにはないノウハウを有した企業であり、
必ずグループ企業の価値向上に繋がると確信しています。



株式会社グローバルブランド
会社ロゴマーク

②中期経営計画発表

当社は、11月24日に中期経営計画を発表しました。

2026年3月期の目標を

売上高：650億円

営業利益率：3.0%

ROA（総資産経常利益率）：5.0%

と定め、全グループ一丸となって目標達成に向け努力してまいります。



写真は中期経営計画説明会を行う笠井社長

③「外食ビジネスウィーク2021」・ 「スーパーマーケットトレードショー2022」 出展

当社は、2021年10月7日、8日に開催された「外食ビジネスウィーク2021」及び2022年2月16日～18日に開催された「スーパーマーケットトレードショー2022」に相次ぎ出展いたしました。

特に環境意識の高いご来場者様から高い関心を頂きました。



外食ビジネスウィーク
2021 当社出展ブース



木製フォーク・スプーンと
電子レンジに対応できる
ネオクラフトBOX

2022年3月期 通期 決算報告



1. 決算概要 (1) (2)
2. 売上高 《販売チャネル別》 前年同期増減金額
3. 売上高 《商品セグメント別》 前年同期増減金額
4. 営業利益の増減要因
5. 財務状況
6. 設備投資 2022年3月期結果と2023年3月期計画
7. 配当の状況

2022年6月3日
株式会社シモジマ

1. 決算概要(1)



【連結】

単位：百万円

科 目	2021年3月期		2022年3月期		
	金 額	前 期 比	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	47,100	▲2.4%	48,063	+963	2.0%
売 上 総 利 益	15,061	▲1.6%	14,971	▲90	▲0.6%
売 上 総 利 益 率	32.0%	+0.3pt	31.1%	▲0.9pt	
販 管 費	14,786	▲0.1%	14,927	+141	1.0%
営 業 利 益	275	▲45.5%	44	▲231	▲83.9%
経 常 利 益	552	▲24.6%	380	▲172	▲31.1%
親会社株主に帰属する四半期純利	▲331	—	86	+417	—

1. 決算概要(2)

単位：百万円

【連結】

○売上高

48,063百万円

前期比：+963百万円 +2.0%

○売上総利益

14,971百万円

前期比：▲90百万円 ▲0.6%

○販管費

14,927百万円

前期比：+141百万円 +1.0%

○営業利益

44百万円

前期比：▲231百万円 ▲84.0%

○経常利益

380百万円

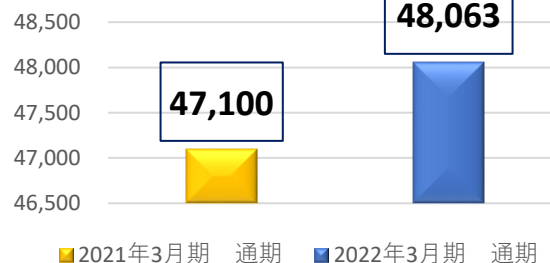
前期比：▲172百万円 ▲31.2%

○親会社株主に帰属する当期純利益

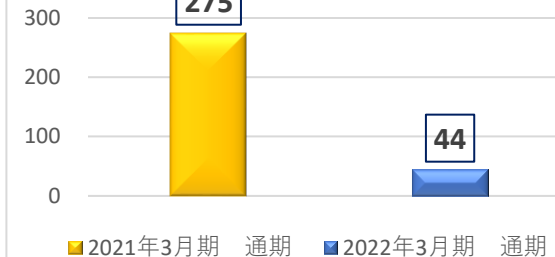
86百万円

前期比：+417百万円 —

売上高



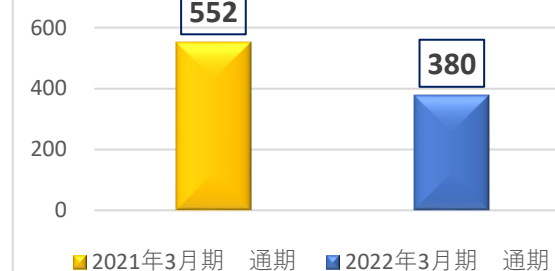
営業利益



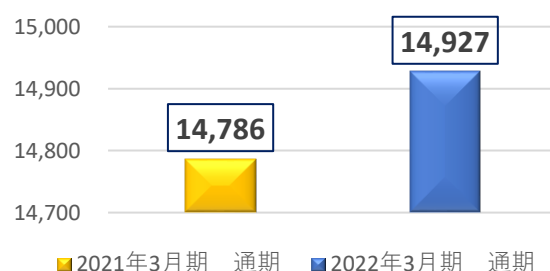
売上総利益



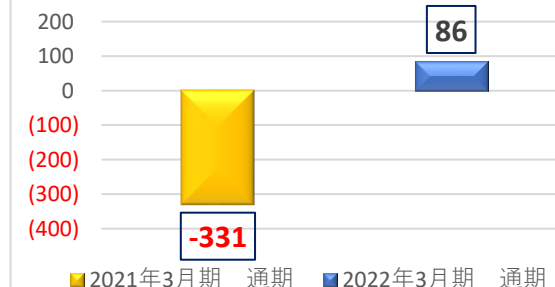
経常利益



販管費



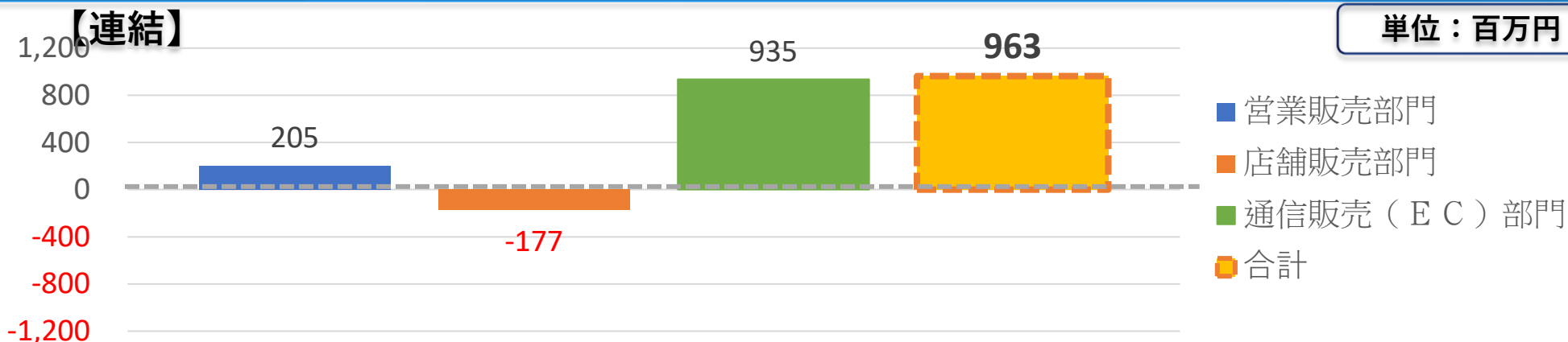
親会社株主に帰属する当期純利益



2. 売上高 ≪販売チャネル別≫前年同期増減金額



単位：百万円



○営業販売部門

34,322百万円

前期比：+205百万円 +0.6%

○店舗販売部門

10,834百万円

前期比：▲177百万円 ▲1.6%

○通信販売 (E C) 部門

2,906百万円

前期比：+935百万円 +47.4%

合計 48,062百万円

前期比 +963百万円 +2.0%

⇒ 上半期苦戦も下半期の経済活動回復で売上増加

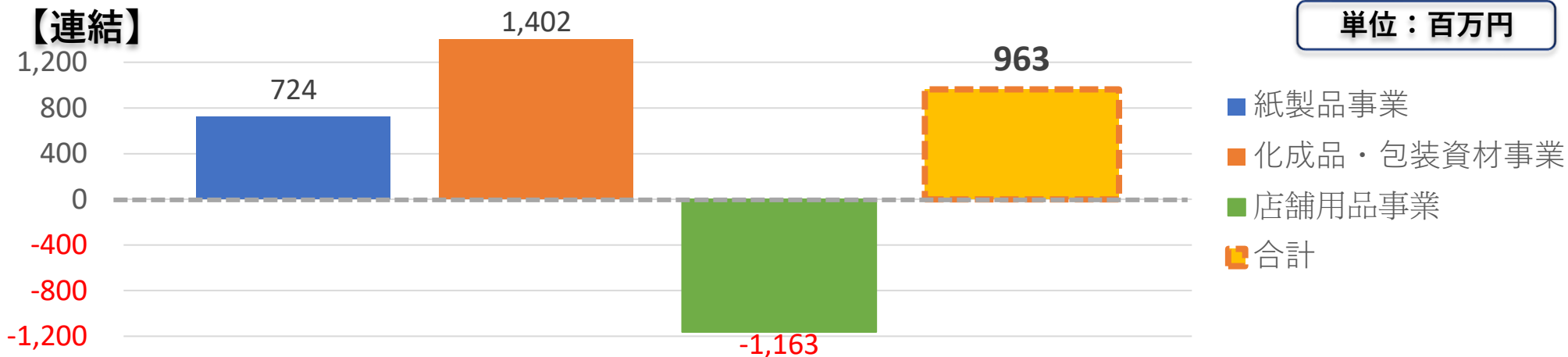
⇒ 新型コロナの影響により来店客数減少
前期旺盛だった衛生用品の需要減退で売上減少

⇒ 通販サイト「シモジマオンラインショップ」会員数増
Amazon 楽天市場 Yahoo!ショッピング掲載数増
順調に売上増加

2. 売上高 《商品セグメント別》前年同期増減金額



単位：百万円



○紙製品事業

9,030百万円

前期比：+724百万円 +8.72%



- ・店舗用紙袋
- ・テイクアウト・フードデリバリー資材
- ・通販資材などが好調（経済活動の需要回復）

○化成品・包装資材事業

26,948百万円

前期比：+1,403百万円 +5.49%



- ・レジ袋有料化一巡
- ・食品流通業界向け環境配慮型商品が好調

○店舗用品事業

12,084百万円

前期比：▲1,164百万円 ▲8.79%



- ・飛沫防止パネルなどの需要は創出
- ・全体的には前期旺盛だった衛生用品の売上が大幅減

合計 48,063百万円

前期比 +963百万円 +2.0%

4. 営業利益の減少要因



【連結】

単位：百万円

2021年3月期末

275

売上増加による利益増加

+308

原価率上昇による利益減少

-398

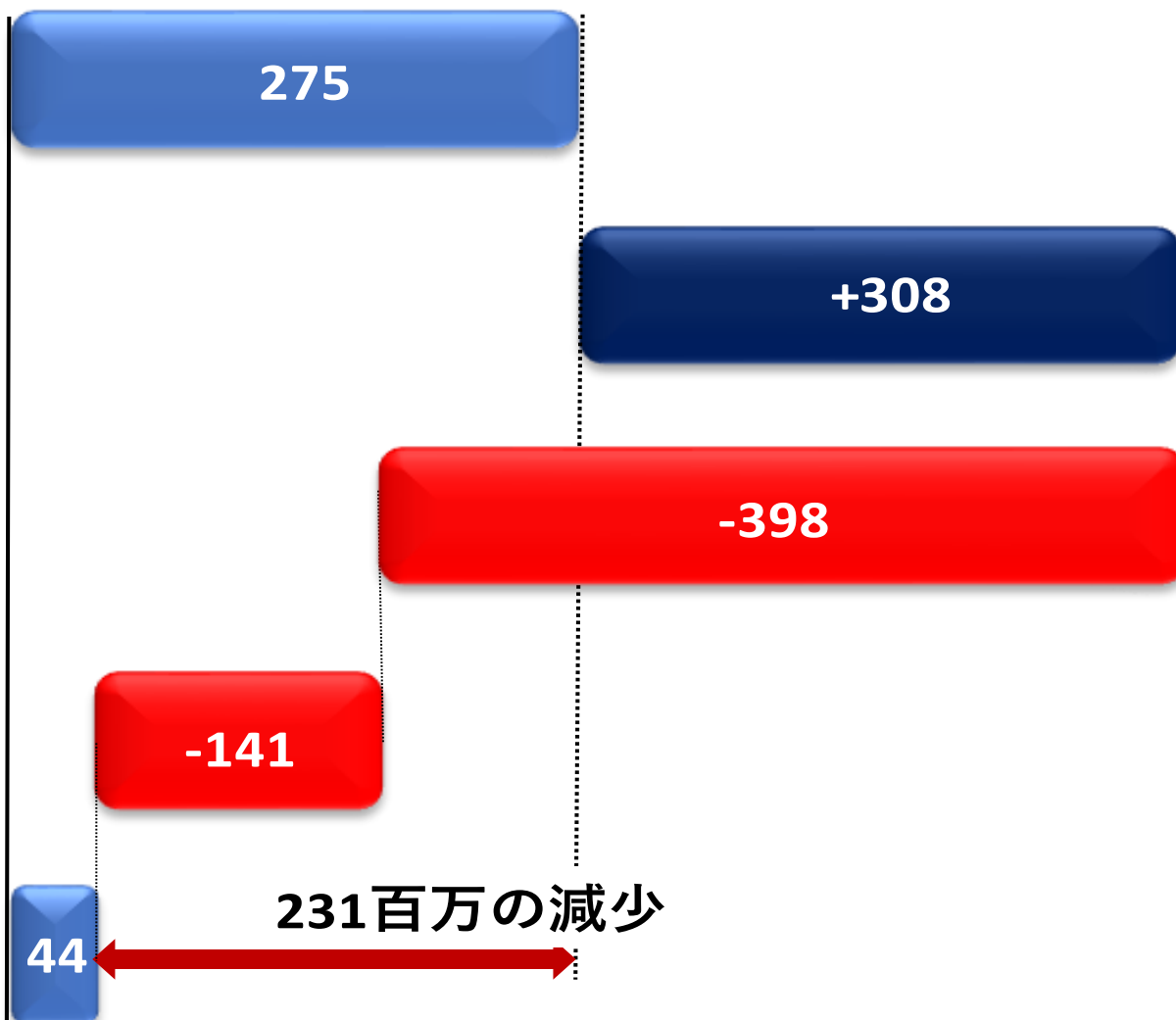
販管費増加による利益減少

-141

2022年3月期末

44

231百万の減少



5. 財務状況



■ 損益計算書

【連結】

単位：百万円

勘定科目	2021年3月期末	2022年3月期末	増減額
売上高	47,100	48,063	963
売上原価	32,038	33,091	1,053
売上総利益	15,061	14,971	▲90
物流費	4,335	4,503	167
人件費	6,420	6,321	▲99
販管費合計	14,786	14,927	141
営業利益	275	44	▲231
営業外損益	276	335	59
経常利益	552	380	▲171
特別損益減損損失	1,106	19	▲1,087
解体撤去費用	－	109	109
親会社株主に帰属する当期純利益	▲331	86	417

原材料の高騰及び円安の進行

人件費／燃料価格の上昇に伴う増加

西部配送センター

5. 財務状況



■貸借対照表 （１）抜粋 【連結】

< 資産の部 >

単位：百万円

勘定科目	2021年3月末	2022年3月末	増減額
現金及び預金	7,629	6,035	▲1,593
受取手形及び売掛金	6,630	7,101	471
たな卸資産	5,398	5,514	115
建物・造作設備・機械設備 等	4,840	4,816	▲24
土地	7,762	7,762	—
無形固定資産	1,370	1,831	461
保険積立金	2,131	2,251	119
資産合計	38,293	37,756	▲537

IT投資,物流投資及びM&A

売上の増加

のれん (M&A)

5. 財務状況



■貸借対照表 (2) 抜粋

【連結】

< 負債の部 >

単位：百万円

勘定科目	2021年3月末	2022年3月末	増減額
支払手形及び買掛金	2,699	2,915	216
未払金	981	924	▲57
長期リース債務	406	345	▲60
土地再評価繰延税金負債	277	277	—
退職給付に係る負債	232	315	82
負債合計	6,067	6,134	66

仕入増（売上の増加）

< 純資産の部 >

勘定科目	2021年3月末	2022年3月末	増減額
資本金	1,405	1,405	—
利益剰余金	36,255	35,802	▲452
その他有価証券評価差額金	437	310	▲127
土地再評価差額金	▲6,195	▲6,195	—
純資産合計	32,225	31,622	▲603
負債純資産合計	38,293	37,756	▲537

当期純利益 86百万円
配当金 ▲511百万円

自己資本比率 83.6%
（前期比 ▲0.4pt）

5. 財務状況



■キャッシュフロー計算書（抜粋） 【連結】

単位：百万円

勘定科目	2021年3月期	2022年3月期
税金等調整当期純利益	▲369	257
減価償却費	851	845
減損損失	1,106	19
売上債権の増減額(▲は増加)	▲109	▲395
たな卸資産の増減額(▲は増加)	190	▲124
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲78	152
法人税等の支払額	▲468	▲106
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,103	430
固定資産の取得による支出	▲631	▲1027
連結の範囲の変更に伴う 子会社株式の取得による支出	—	▲449
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲407	▲1,376
配当金の支払い額	▲627	▲511
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲404	▲647
現金及び現金同等物の期首残高	7,150	7,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,441	5,848

I T 投資及び物流投資

M & A

6. 設備投資

2022年3月期結果と2023年3月期計画



投資項目	2022年3月期計画	2022年3月期実績	消化率	2023年3月期計画
物流投資	3.5億円	2.2億円	64%	14.3億円
I T 投資	3.2億円	4.8億円	150%	4.8億円
店舗投資	1.6億円	0.7億円	40%	3.6億円
その他の投資	0.7億円	1.4億円	206%	0.9億円
合計	約9.0億円	約9.2億円	102%	23.6億円

2022年3月期通期 主な設備投資実績

< 物流投資 >

- ・自動倉庫
- ・D A S 増設（D X, E C 対応）
※DAS:デジタルアソートシステム

< I T 投資 >

- ・基幹システムのリプレイス
- ・W M S （D X, E C 対応）
※WMS:倉庫管理システム
- ・人給システム刷新

< 店舗投資その他 >

- ・エレベーターリニューアル
- ・照明のL E D 化（心齋橋ビル）

7. 配当の状況



	1 株 あ た り 配 当 金		
	中 間	期 末	年 間
2021年3月期 (実績)	11円	11円	22円
2022年3月期 (実績)	11円	11円	22円
2023年3月期 (予想)	11円	11円	22円

2023年3月期 今後の見通し 通期業績予想



1. 今後の見通し
2. 2023年3月期 通期業績予想

2022年6月3日
株式会社シモジマ

1. 2023年3月期 今後の見通し



新型コロナウイルス感染症の脅威は、いまだに日本経済に影を落としておりますが、その影響は最悪の状況は脱し、過去2年よりは幾分軽減されていくと想定されます。制限はあるものの各種イベントが開催されるなど、ウィズコロナ社会が定着していくものと思われます。イベントが開催される事は、制限が付いているにしても当社にとって明るい材料と捉える事が出来ます。

しかし、コロナ禍における供給制約により原材料価格が高まっている中で、ロシアがウクライナに侵攻した事で、原油価格の高騰に拍車がかかりました。また、その煽りを受けて物流費も上昇しています。更に為替市場では、円安が急速に進行したことも相まって化成品を中心とした仕入コストが大幅に上昇いたしました。これらの要因は当社グループの業績に大きな影響を及ぼしています。

<経営課題への対処>

中期経営計画の実行

【1】事業の拡大 【2】経営基盤の強化 【3】経営体制の強化



業績の拡大と共にコーポレートガバナンスコードに沿った経営

2. 2023年3月期 通期業績予想



【連結】

単位：百万円

科 目	2022年3月期 結 果	2023年3月期 予想		
	金 額	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	48,063	50,700	+2,637	5.5%
売 上 総 利 益	14,971	15,750	+779	5.2%
売 上 総 利 益 率	31.1%	31.0%	▲0.1pt	—
販 管 費	14,927	15,390	+463	3.1%
営 業 利 益	44	360	+316	713.2%
経 常 利 益	380	670	+290	76.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	86	400	+314	364.9%

シモジマグループの成長と発展に向けて

①基本情報



1. シモジマグループ 経営理念・社是・社章
2. シモジマグループ 長期ビジョンと長期方針

経営理念

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

社是

三意精神 『誠意・熱意・創意』

社章

すべてを包み込みながら拡大し続ける宇宙をモチーフとしており、社員や地域社会を含めた一体感や企業の発展性を象徴しています。



シモジマ
グループ
長期ビジョン

10年後のあるべき姿



長期方針

“パッケージ×サービス”で お客様に元気を届ける トータルパートナーを目指す

既存事業の深化と事業領域の拡大で多様な商品及びサービスを提供し、お客様を元気にしたい。
シモジマは“パッケージ×サービス”のトータルパートナーを目指します。

【1】事業の拡大

1. 既存事業の深化
2. 事業領域の拡大

【2】経営基盤の強化

1. グループ連携の強化
2. I T 基盤の強化とデジタル化の推進
3. 物流体制の強化
4. 人財力のアップ

【3】経営体制の強化

1. コーポレートガバナンス体制の強化
2. C S R の推進
3. E S G の取り組み強化
4. S D G s の取り組み強化
5. 環境経営の推進

シモジマグループの成長と発展に向けて

②中期経営計画に対する活動状況



1. 売上高と営業利益率の状況

《中期経営計画に対する活動状況》

1. オムニチャネル政策の拡大「100万×100万プロジェクト」
2. 業界別営業 飲食店様のために何が出来るか
3. 物流投資
4. S D G s 持続可能な社会に向けて （阪神甲子園球場とのコラボレーション）

1. 売上高と営業利益率の状況

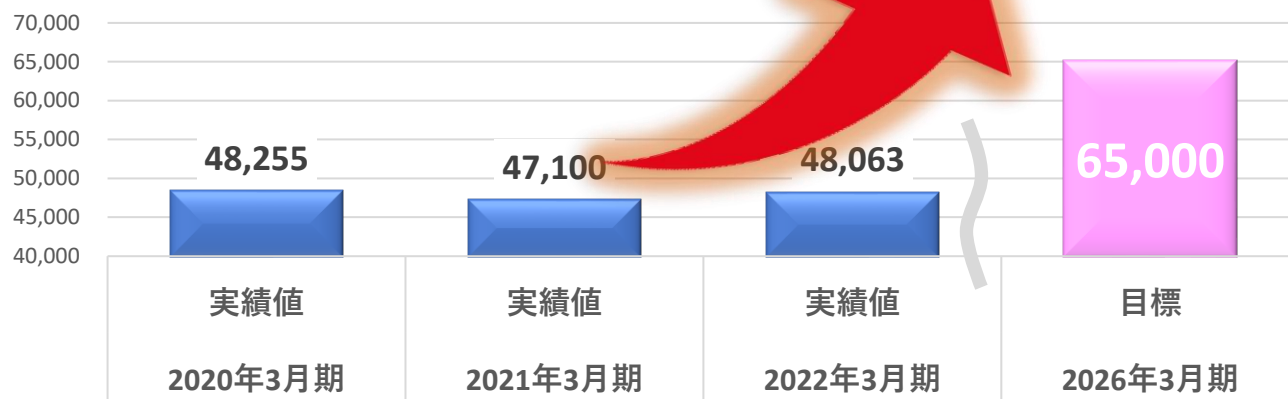
売上高の目標

(単位：百万円)

		売上高
2020年3月期	実績値	48,255
2021年3月期	実績値	47,100
2022年3月期	実績値	48,063
2026年3月期	目標	65,000

単位：百万円

売上高目標



営業利益の目標

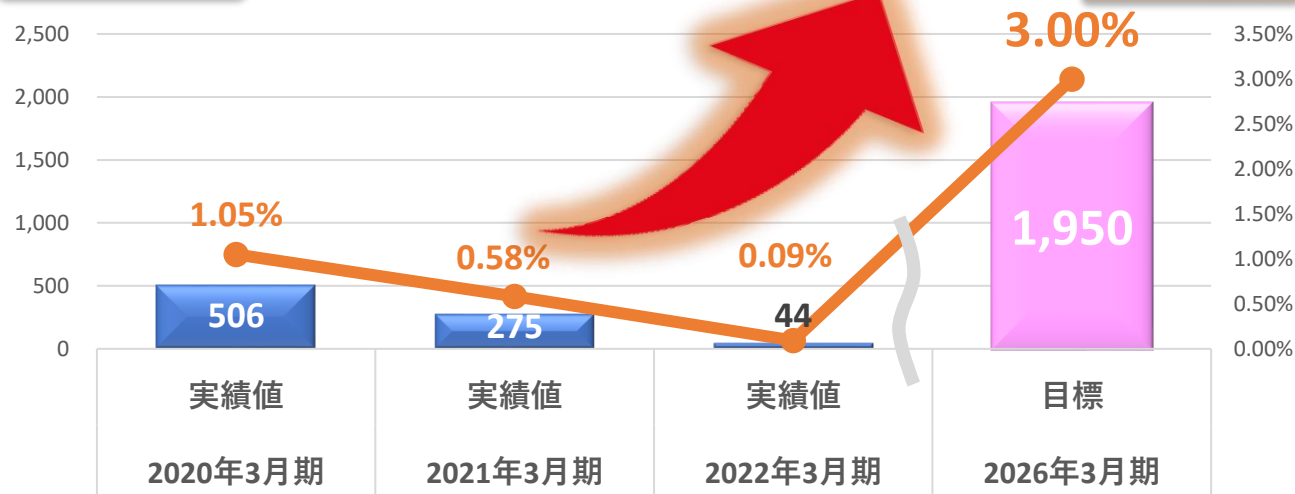
(単位：百万円)

		営業利益	営業利益率
2020年3月期	実績値	506	1.05%
2021年3月期	実績値	275	0.58%
2022年3月期	実績値	44	0.09%
2026年3月期	目標	1,950	3.00%

単位：百万円

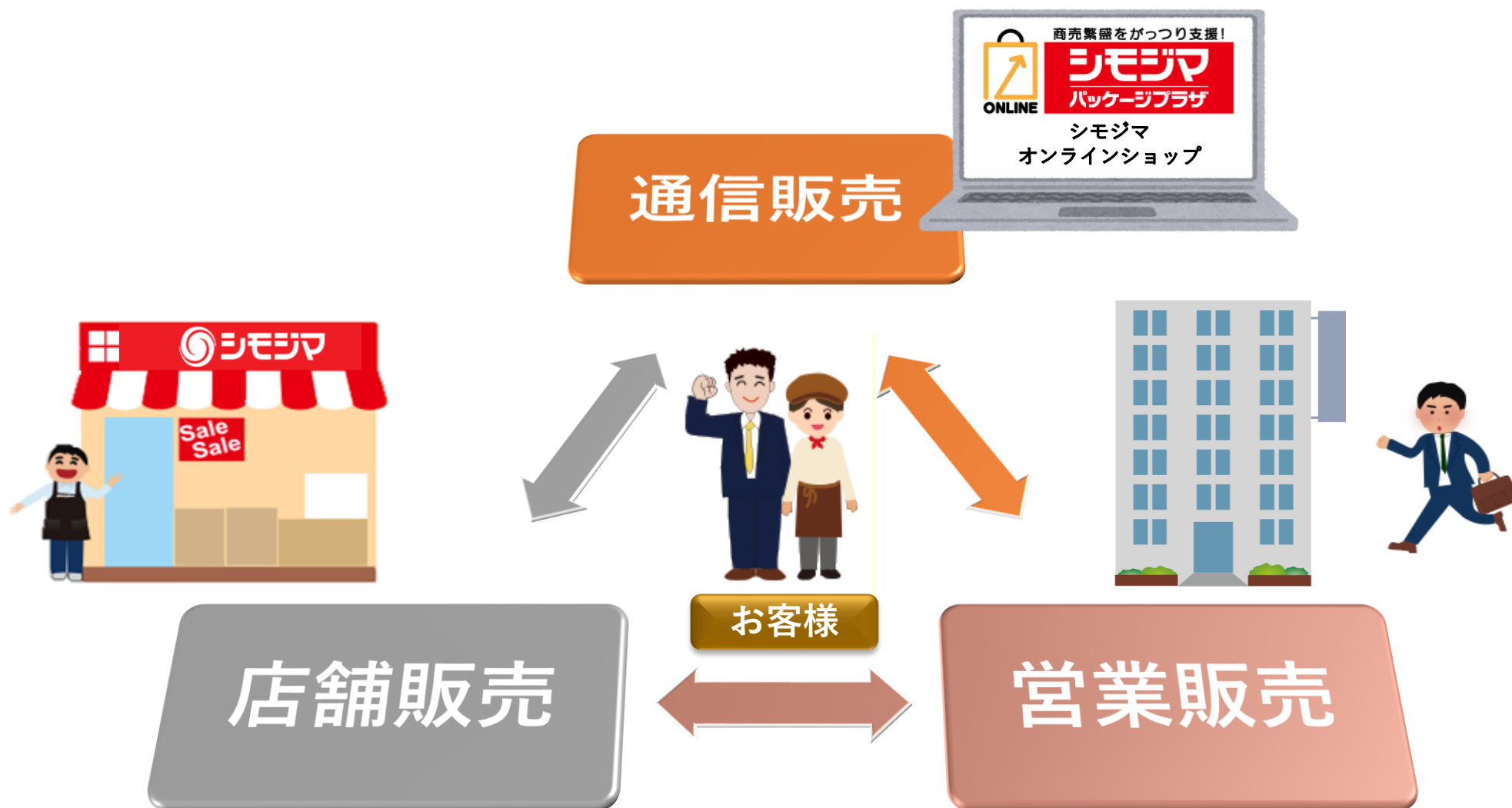
営業利益目標

営業利益率



1. 中期経営計画に対する活動状況

シモジマ型オムニチャネルとは



通信販売（ECサイト）・店舗・営業による相互送客
⇒お客様にとって最適なチャネルで商品をご提案

1. 中期経営計画に対する活動状況

シモジマ型オムニチャネル政策の拡大に対する活動状況
(100万×100万プロジェクト)



2026年3月期までにシモジマオンラインショップ内の商品掲載数を100万SKU、ID会員数を100万顧客とする、中期経営計画を策定しています。

100万×100万プロジェクト

商品政策
100万SKU

顧客政策
100万顧客



掲載数比率変化のイメージ

商品政策

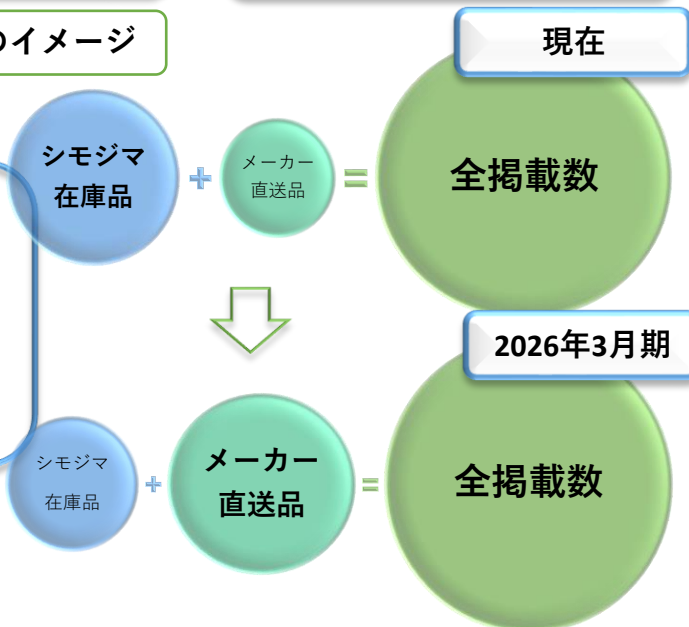
シモジマモール立ち上げ

- ・2021年11月 シモジマオンラインショップ内にシモジマモール立ち上げ
- ・厳選したイチオシ資材をメーカーから直接お客様へ発送
- ・各業界の「雄」との連携交渉中！

顧客政策

CRMを活用した業界別販促活動

- ・業界を60以上に選別し設定
- ・キメの細やかな販促活動
(アパレル、宝飾、家具、玩具、スポーツなど様々な分類に選別 お客様が必要としている資材をご提案)



シモジマは各業界のプロのお客様のお役に立ちます。



花材



食材



農材



製菓・製パン



アパレル



通販



介護



工業・工場

- ・ 各業界の皆様との長年に渡るコミュニケーションを通じた、それぞれの業界に合わせた商品開発、情報の提供をこれからも継続
- ・ 一方で、当社グループがお役に立てる業界を今後も増やしていく方針

2. 中期経営計画に対する活動状況

業界別営業 飲食店様のために何が出来るか？



展示会への出展

2021年10月「外食ビジネスウィーク2021」

2022年2月「スーパーマーケットトレードショー2022」



←「スーパーマーケットトレードショー2022」の様子

↓ 柄入りペーパーパートレーのチラシ

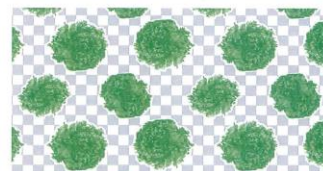
新商品

使いやすい柄入りでお肉やお惣菜にぴったり!

柄入りペーパーパートレー

ソイインキ使用
内側:PP貼り仕様(耐水・耐油性あり) レンジアップOK

1ケース=1200枚



NEW レタス柄

9-26

●サイズ:150x90x26mm
●重量:約5.5g/枚
●JAN:4547432651289
●コード#004284920



NEW 百万石柄

9-26

●サイズ:150x90x26mm
●重量:約5.5g/枚
●JAN:4547432651288
●コード#004284921



NEW 木目柄

12-27

●サイズ:196x120x27mm
●重量:約9g/枚
●JAN:4547432651302
●コード#004284922



NEW 雲竜黒金柄

15-27

●サイズ:196x150x27mm
●重量:約10.8g/枚
●JAN:4547432651319
●コード#004284923



オリジナル柄の別注品も承ります。ロット:約48,000枚(40ケース) ※別途製代・送料

●白・未晒も生産可能(9-26と240万枚 12-27と115万枚 15-27と48万枚)
●突き上げ式ラップ包装機対応可能(事前にラップテスト必要)
●森林認証紙も指定可能



←「スーパーマーケットトレードショー2022」で紹介し、ご好評いただいた「ペーパーフードカップ」と「カトラリー」



物流投資の状況

中期経営計画達成のため、西日本地区の物流体制強化を目的に投資を行いました。

シモジマ新西部配送センター建設 (東大阪市)

5階建て 延べ床面積3,000坪
(旧シモジマ西部配送センターの約2.5倍)

2023年8月稼働予定

コンセプト

①少量多品種の商品の保管を実現
する為、法定内での床面積を最大
限利用

②ゆとりある休憩室や業務中の空
調環境など快適な労働環境を計画
働きやすい労働環境の構築

③環境対応としてソーラーパネル
の設置



完成予定図

4. 中期経営計画に対する活動状況

SDG s 持続可能な社会に向けて 活動状況 (阪神甲子園球場とのコラボレーション)



阪神甲子園球場との取組み内容

- ・「リサイクルごみ袋」を開発
(プラスチックカップの再生原料を一部使用)
- ・阪神甲子園球場で今シーズンから使用開始
- ・2022年4月から兵庫県西宮市の指定ごみ袋制度承認品
(西宮市指定事業系ごみ袋)

阪神甲子園球場における 循環型リサイクルの流れ



株式会社シモジマ 会社紹介

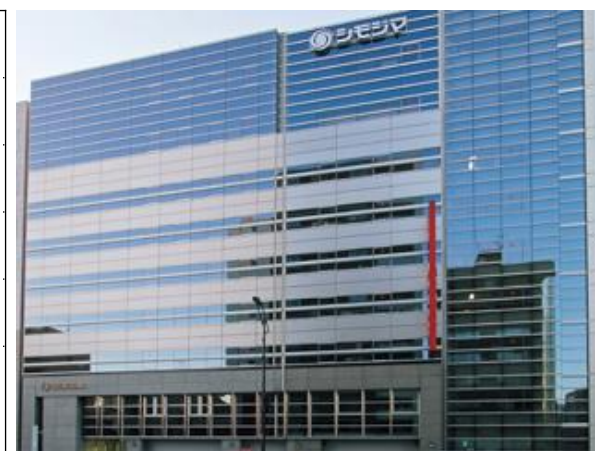


1. 会社概要
2. 沿革
3. 受け継がれる シモジマの精神
4. 株主優待制度

1. 会社概要



会社名	株式会社シモジマ	SHIMOJIMA Co., Ltd.
創業	大正9年	
設立	昭和37年4月26日	
資本金	1,405百万円	
本社	東京都台東区浅草橋五丁目29番8号	
代表者	代表取締役会長 下島和光 代表取締役社長 笠井義彦	
従業員数	連結 809名 (2022年3月現在) 単独 627名 (2022年3月現在)	
事業内容	卸売販売 ◇紙製品事業 紙袋・包装紙・紙器 ◇化成品・包装資材事業 ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材 ◇店舗用品事業 POP用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材 ・園芸関連資材	
売上高	480億63百万円	(2022年3月期/連結)
営業利益	44百万円	(2022年3月期/連結)



シモジマ本社ビル



シモジマ浅草橋本店

2. 沿革

年月	沿革
1920年1月	包装材料卸問屋下島商店創業
1943年8月	(株)下島商店発足
1943年9月	下島荷具工業(株)に商号変更
1964年7月	(株)シモジマを設立
1967年7月	(有) 彩光社に資本参加
1972年3月	浦和市（現さいたま市）に東部配送センター設置
1977年12月	東大阪市に西部配送センター設置
1989年9月	栃木県安蘇郡田沼町（現佐野市）に田沼倉庫設置。物流子会社ヘイコーハンドリング(株)（現シモジマ加工紙(株)）を設立
1995年12月	日本証券業協会に株式を店頭登録 資本金14億507万円
1996年9月	当社最大店舗の浅草橋5号館（現浅草橋本店）を新築オープン
2000年11月	本社においてISO14001認証取得
2001年2月	東京証券取引所市場第二部上場

年月	沿革
2001年9月	名古屋市中区に同地区最大規模の名古屋店をオープン
2001年12月	子会社、(株)エスティーシーを設立
2003年10月	東京浅草橋に浅草橋6号館（現east side tokyo）をオープン
2004年9月	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2006年3月	子会社、下島（上海）商貿有限公司を設立
2010年4月	(株)リード商事を子会社化
2014年4月	執行役員制度導入
2014年8月	大阪南港物流センター開設
2017年8月	子会社、(株)エスパックを設立
2017年9月	(株)我満商店をグループ化
2019年10月	ミタチパッケージ(株)を子会社化
2019年12月	朝日樹脂工業(株)を子会社化
2021年11月	(株)グローバルブランドを子会社化

3. 受け継がれる シモジマの精神

初期の平光マーク



現在のHEIKOマーク



創業当時の
店舗兼住居



創業1920年
(黎明期)



下島商店時代のカタログ

※既に製造販売を中止している商品も御座います。

「平光マーク」に込められた思い
「良心的でないものは作らない・売らない」というのが創業時からの当社の信念。当社が扱う商品であることを示すマーク。
「平」＝なだらかに行き渡らせる
「光」＝仏の御心の輝き
正しく、誠の精神に則った商品を世界中に行き渡らせたい。そうした願いが込められている。

大正・昭和時
(発展～拡大期)



昭和の時代の
手提げ紙袋



平紐



クリスタルパック



木製カトラリー
とクラフトBOX

平成時代
(変革期)



再生紙手提げ袋

現在



脱プラ宣言！カタログ



宅配用資材

ご清聴ありがとうございました。



お忙しいところ、弊社決算説明会に
お集まり頂き、誠にありがとうございました。

2022年6月3日
株式会社シモジマ